

令和 2 年 5 月 27 日

大 阪 市 長  
松 井 一 郎 様

一 般 社 団 法 人  
大阪市老人福祉施設連盟  
代表理事 後藤静男

## 新型コロナウイルスの感染症に対する要望書

このたびの新型コロナウイルス感染症に対しては、現在小康状態とはいえ、ワクチンの開発、治療方法が未確立な中で、おそらく第2波、第3波が来るものと予測されます。マスク等においては、医療機関がクローズアップされますが、諸外国の例を見ても、実は介護現場の方が問題ではないかと考えております。ついでに、当連盟加盟施設から様々な課題、要望、意見が上がってきておりますので、とりまとめ要望致します。何卒、市民の命を守るため、可能な限り実現に向け宜しくお願い致します。

## 1、感染予防の物品の確保について

- (1) 貴市からは可能な限りのマスク、カップ、アルコール等を配布して頂いたところですが、絶対量が不足しており、今後優先的に介護施設に予防物品が配布されるように検討して頂きたい。又、感染者や濃厚接触者が出た場合、集中的に配布されるよう貴市においてストックをお願いしたい。また、国とは別に感染予防に関する費用の補助についてもお願いしたい。

## 2、PCR検査等について

- (1) 感染が疑われても保健所の「帰国者、接触者相談センター」と連絡がつかない。福祉局の中に窓口を設けていただけないか。
- (2) 医療機関やドライブスルーのPCR検査場に重度の利用者は行くのは難しい場合もあり、出張のPCR検査のあり方も検討して頂きたい。
- (3) ワクチンが開発された場合、高齢者や福祉従事者を優先的にお願いしたい。

## 3、陽性者や濃厚接触者の居場所の確保

- (1) 新型コロナ対応の病院においては、稼働率が高くなると、介護の必要な陽性者の受入れは難しいのが実情でした。介護の必要な陽性者や濃厚接触者の居場所としての病院や施設の確保に努めて頂きたい。
- (2) 発熱があると受け入れてくれない医療機関が多く、他疾患で益々重症化してしまう。発熱外来等のある病院に対して受入れを要請してほしい。
- (3) 自施設に陽性者や濃厚接触者が出た場合、職員も家に帰れない場合がある。病院職員を受けているホテルに福祉関係職員を受け入れる要請をお願いしたい。

## 4、応援職員の派遣について

- (1) 施設等でクラスターが発生した場合、職員が濃厚接触者で自宅待機になった場合、利用者を介護するものがいなくなる。他県ですでにあるような感染施設への職員派遣の仕組みについても早急に実現して頂きたい。又、食事についても応援出来る仕組みを検討して頂きたい。

## 5、風評被害防止について

- (1) 行政としても風評被害防止の視点から、PRを行って頂きたい。

## 6、面会制限の解除の目安

- (1) 面会制限の解除の目安について教えて頂きたい。

## 7、その他

- (1) ショートステイは利用日数の上限があるが、このような状況の中、緩和をお願いしたい。